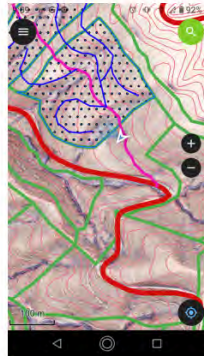


現地踏査に活用する

QGISで作成した事業構想は、携帯端末用データセットとして出力できることから、これを用いて現地調査が効率的に行えるようになる。森林作業道の線形案の現地踏査にも有効である。

また事業の実行、監督、検査等に幅広く活用することができる。



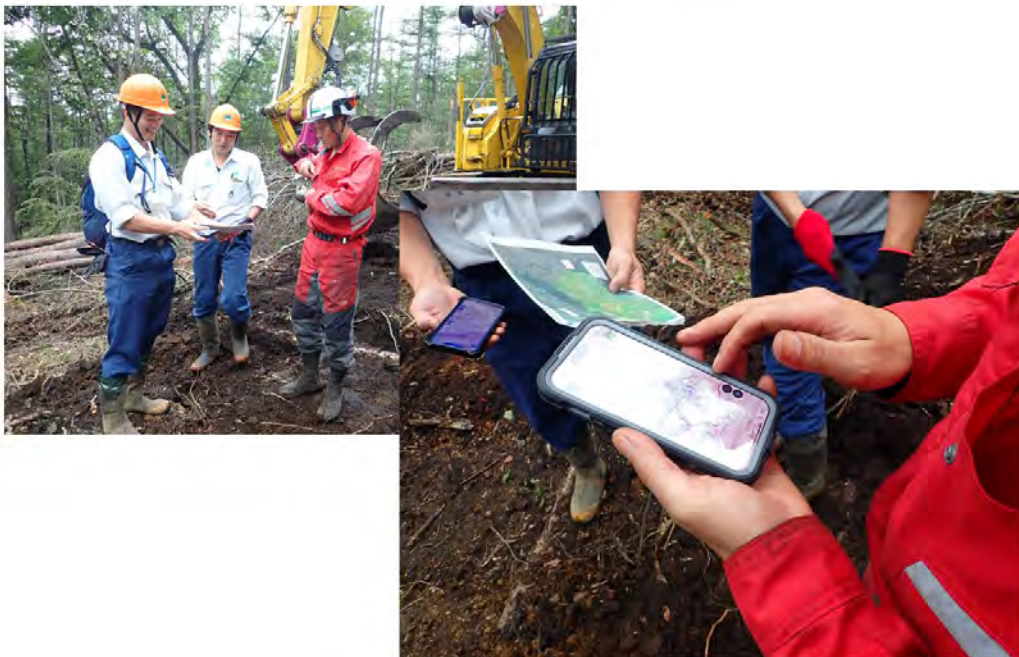
携帯端末QFieldアプリで事業区域や線形案を表示しながら現地踏査



現地で修正した作業道幹線の線形を高精度GNSSで測量

17

事業体とデータを共有する



18

携帯端末用QFieldアプリの操作方法

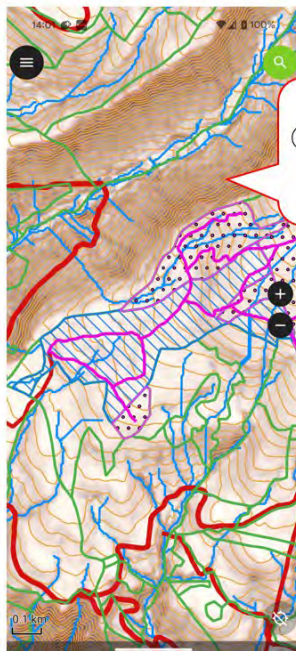
【QFieldアプリの開始方法】



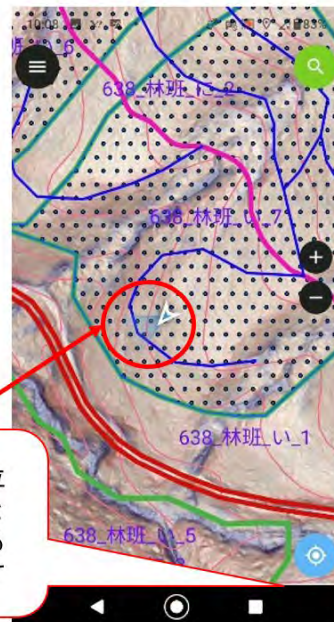
①「QField」アイコンをタップする



②最近使用したプロジェクトから選んでタップして開始する



③プロジェクトが再現されます



④現地で携帯端末の位置情報をONにすると現在地や向いている方向が表示されます

19

20

【地図データの表示と非表示の切り替え】



21



例：傾斜区分図を表示

22

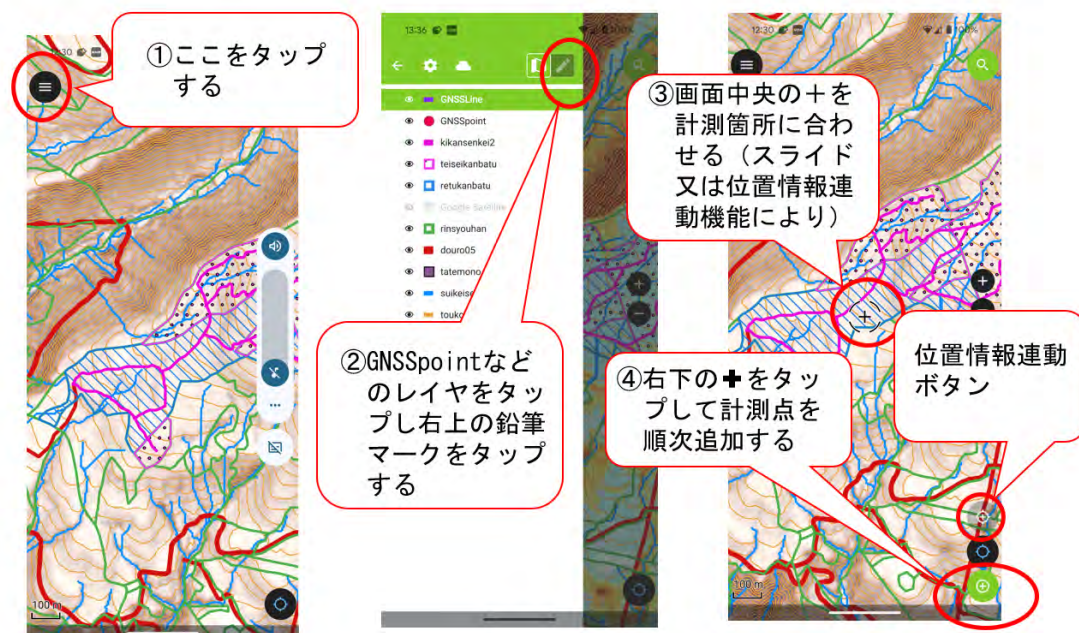
【衛星画像（インターネット圏内のみ）の表示】



衛星画像を表示

23

【現地踏査で新たに点や線の地物を追加する】



25

【地図が消えてしまったら】

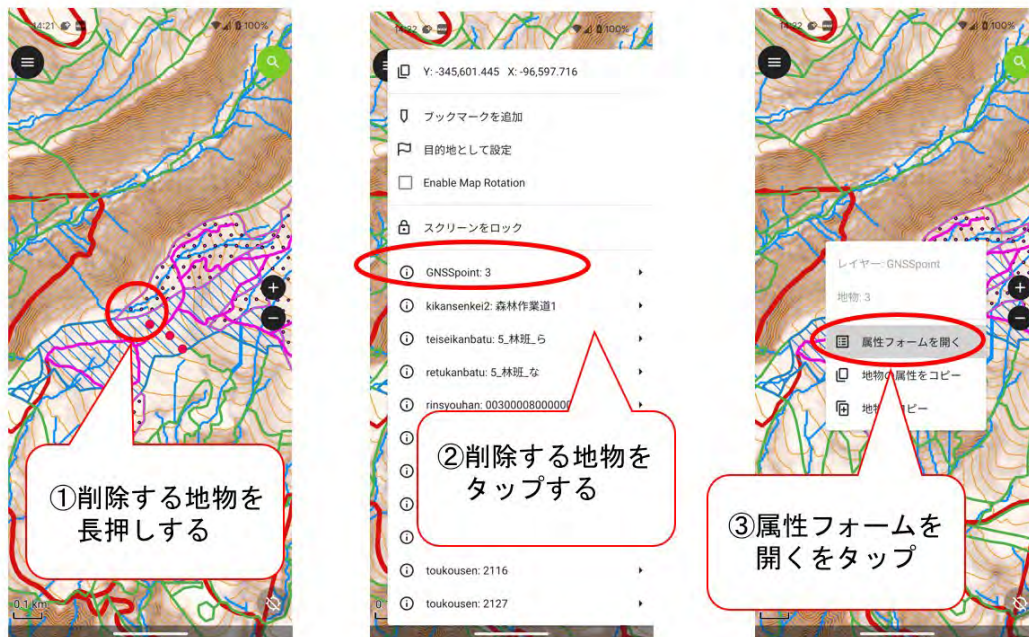


24



26

【追加した点や線の地物を削除する】

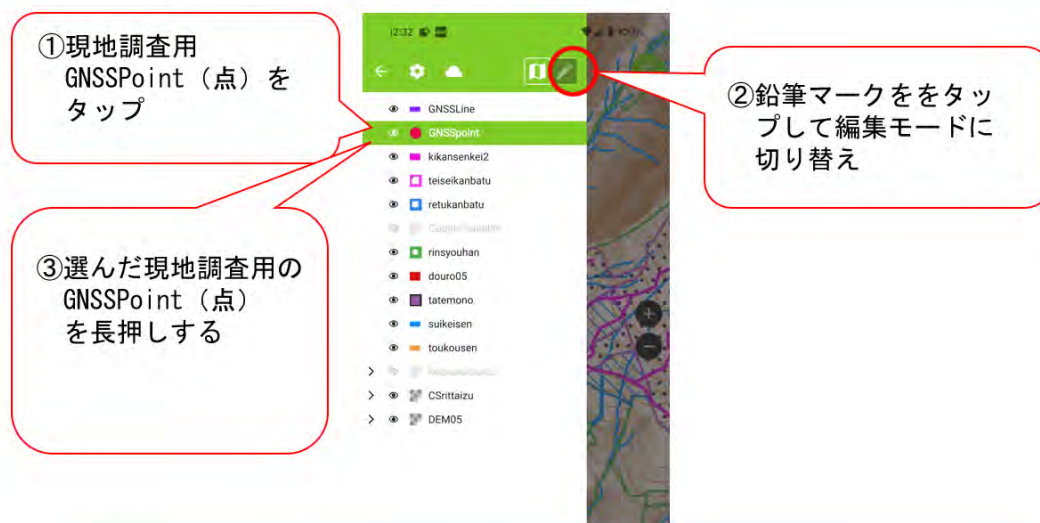


27



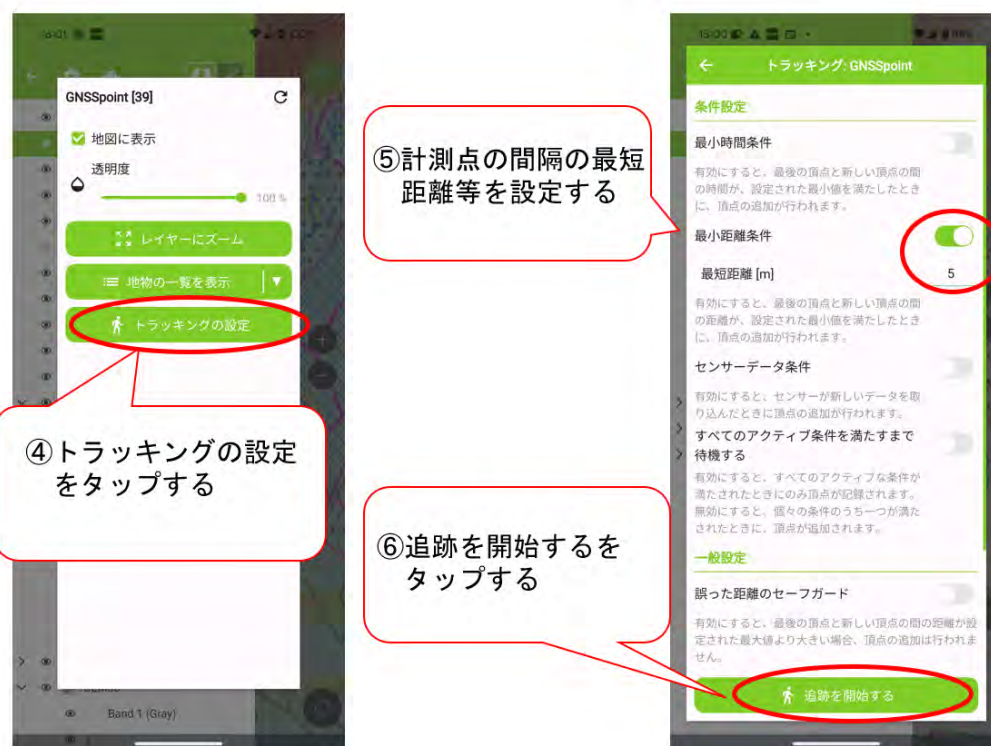
28

【トラッキング機能（※）を使う】

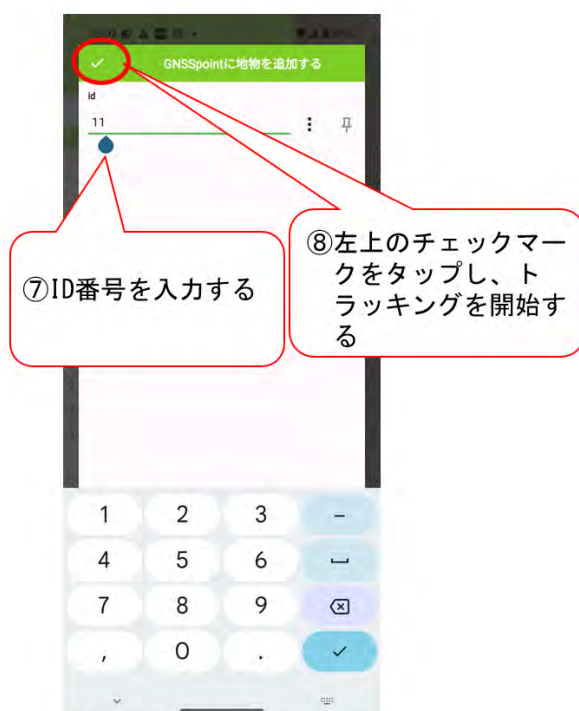


※ トラッキングとは現地での移動経路を半自動的にGNSS計測して記録することです。
例えば、トラッキングしながら作業道を移動することで、その線形データを取得し、GIS上で表示することができます。

29

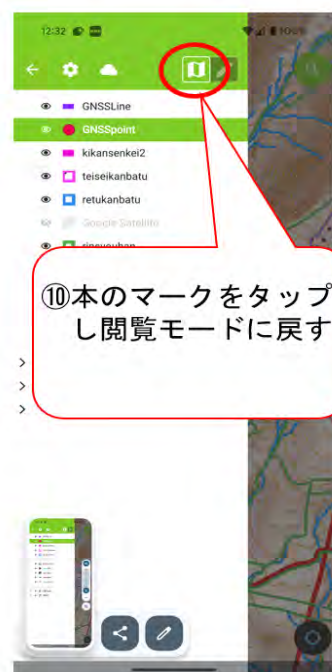
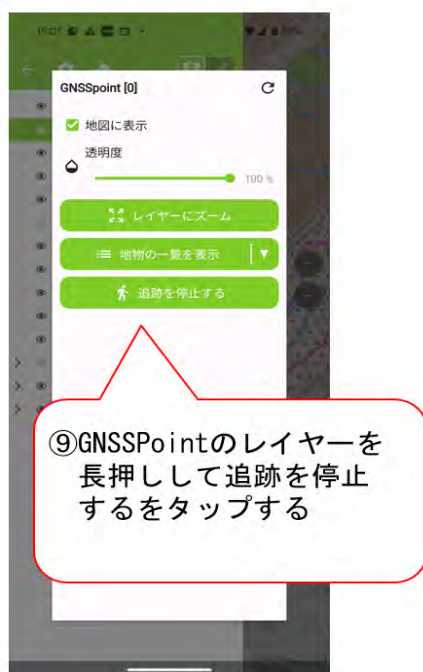


30



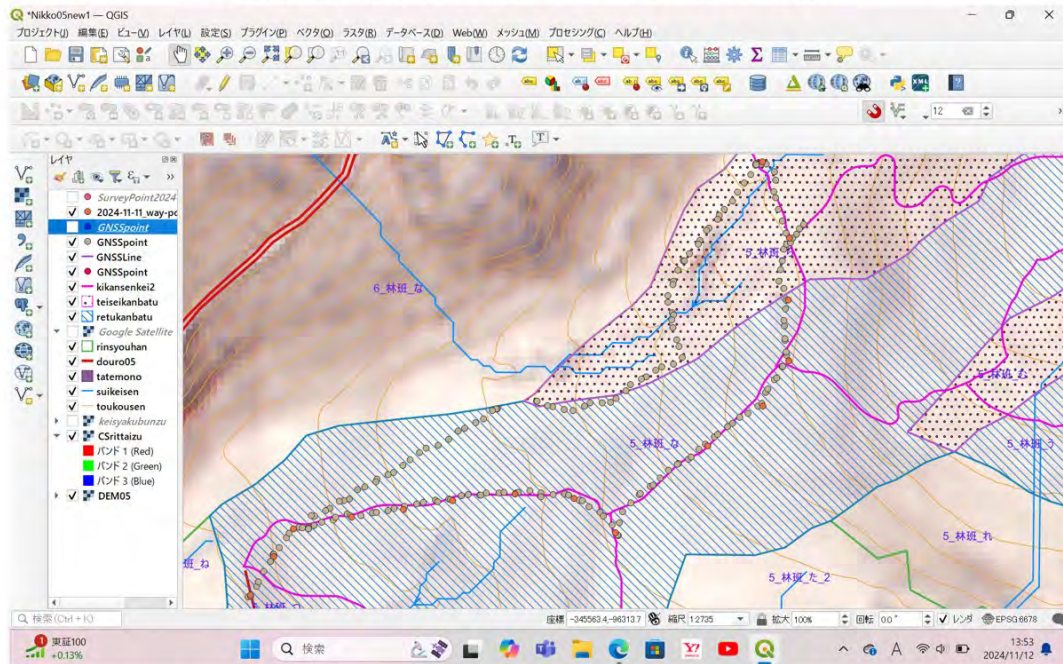
31

トラッキングを終了するとき



32

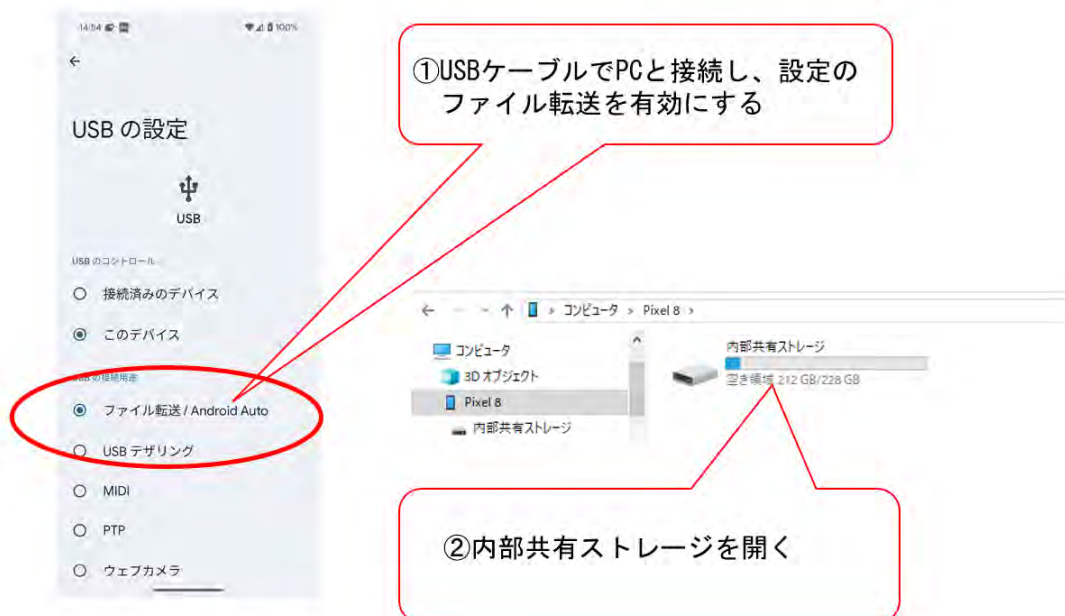
(参考) QFieldトラッキング（灰色～2周波GNSSスマホ）と2周波GNSS受信機の計測点（オレンジ色）との比較



上空が開けた作業道の線形計測はQFieldトラッキングが効率的。

33

【現地で計測した点等をPCのQGISに取り込む】（Androidの例）



34

